

### 3. 河川整備の進捗状況について

- 河道掘削区間（下流～瑞沢川合流点）⇒ 一宮橋付近の**暫定掘削工事**を施工中です。
- 河道拡幅区間（瑞沢川合流点～鶴枝川合流点）  
⇒ 河道拡幅に伴う**橋梁架替**や**樋門、築堤工事**を進めており、東橋では**橋桁の架設工事**を実施しています。

令和6年1月撮影

河道掘削区間  
一宮橋



令和6年2月撮影

河道拡幅区間  
東橋



- 護岸法立て区間（鶴枝川合流点～豊田川合流点）  
⇒ **令和6年度末迄の完成**を目指し、護岸工事を施工中です。
- 堤防嵩上げ区間（一宮川中流域、阿久川）  
⇒ **一宮川**（八王子橋～砂田橋）及び**阿久川**（長者橋～富士見橋）において**堤防嵩上げ工事**を施工中です。

令和6年1月撮影

護岸法立て区間  
旭橋下流



令和6年1月撮影

堤防嵩上げ区間  
落合橋下流



- 一宮川第二調節池 ⇒ 令和6年1月末時点で、**計画貯留容量40万m3を確保**しました。引き続き、残る護岸工事や周囲堤（自転車道）の舗装工事を実施していきます。

令和6年1月撮影



千葉県 一宮川改修事務所  
茂原市 茂原 1102-1  
(長生合同庁舎4階)  
TEL 0475-26-3703  
FAX 0475-26-3706

事務所HP



# 一宮川流域通信

千葉県 一宮川改修事務所  
茂原市 茂原 1102-1  
TEL 0475-26-3703  
FAX 0475-26-3706

9月8日の台風第13号の接近に伴う大雨で、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い河川整備の完了を目指し、職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

## 1. 9月8日の大雨について

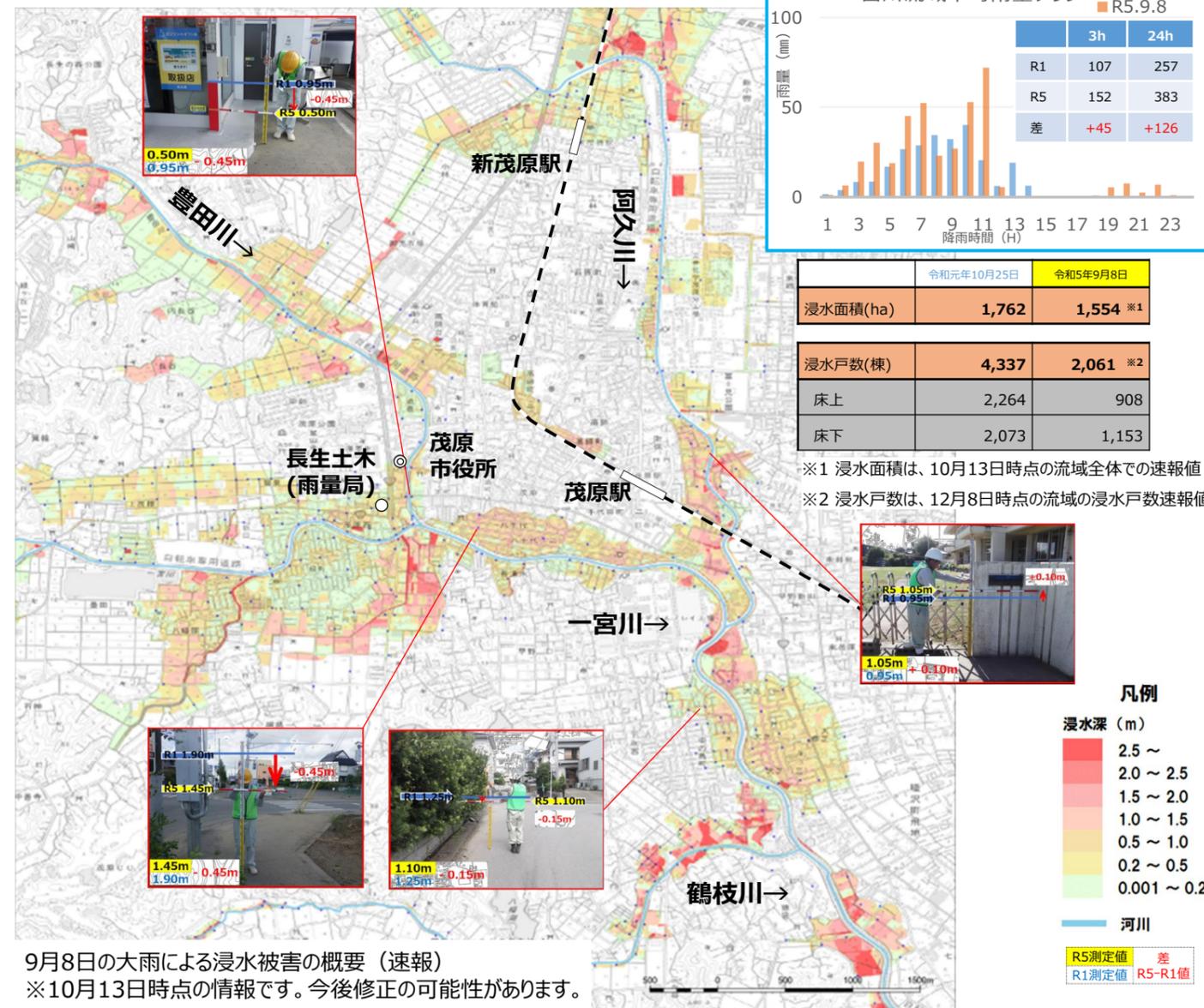
昨年9月8日の大雨は、一宮川流域の各観測所において、**令和元年を大きく上回り、観測史上最大の雨量**が観測されました。

一宮川流域平均の24時間で降った雨量は**383ミリ**にも及び、令和元年10月の時には、257ミリであったことと比べると、**100ミリ以上も上回る結果**となりました。

特に、茂原市内の、**長生土木**と**真名**の観測所では、24時間で**400ミリを超える雨量**を観測しています。

また、浸水被害の状況ですが、**令和元年の浸水面積は1,762ヘクタール**でしたが、**今回は、1,554ヘクタール（速報値）**となっています。

そして、**浸水戸数**については**令和元年が、床上、床下併せて4,337棟**でしたが、今回は、併せて**2,061棟（速報値）**となっています。



9月8日の大雨による浸水被害の概要（速報）  
※10月13日時点の情報です。今後修正の可能性があります。

## 2. 一宮川における有識者による検証について

今回の大雨で浸水被害が発生したことについて、浸水の拡がり方や、工事の管理体制などを検証するため、県では有識者で構成する2つの検証会議を設置しました。

### 1) 一宮川流域における令和5年台風第13号による災害検証会議

#### 【目的】

河川の計画を大きく上回った今回の大雨によって、どのように浸水が発生し広がっていったのかを解明し、これまでの河川整備の効果を検証します。

また、河川計画の規模を上回る降雨に対する、今後の浸水対策のあり方を取りまとめることとします。

【設置日】 令和5年10月31日

#### 【開催歴】

- 第1回 令和5年11月17日
- 第2回 令和5年12月28日
- 第3回 令和6年1月26日

#### 【加藤座長あいさつ】

- 私は、防災まちづくりの専門家です。
- 想定以上の災害に対して**どう市街地は備えるべきか、ゼロではない自然災害リスクとどう上手に付き合うのか**、様々な地域で議論が積み上げられています。
- 今後の**“流域治水”**の方向性を定めるような、最先端のすばらしい何かをみんなで作り上げていく意気込みです。



東京大学 教授 加藤座長 (WEB出席)

#### 【委員】

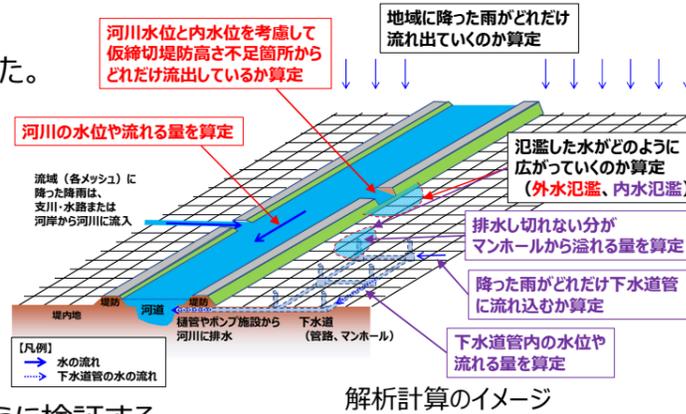
氏名	所属・役職
かとう たかあき 加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授
にい やすお 二瓶 泰雄	東京理科大学創域理工学部 教授
はっとり あつし 服部 敦	国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ長

#### 【オブザーバー】

氏名	所属・役職
えもり しまこ 江森 史麻子	弁護士
たかはし かずや 高橋 一弥	弁護士

#### 【会議における委員からの主なコメント】

- 令和元年の大雨を上回る観測史上最大の降雨だった。
- 降雨や浸水時の写真や動画などの情報を収集・整理して、浸水がどのように発生し、広がっていったのかを明らかにする。
- これらを用いて精度の高い計算を行い、浸水対策の効果や浸水の様子を推測する。
- 取りまとめ結果は誰にもわかりやすい表現とする。
- 一宮川流域の土地利用や地形など、特性に合った今後の浸水対策のあり方を見出せるように検証する。



第1回一宮川流域における令和5年台風第13号による災害検証会議の様子

## 2) 一宮川護岸工事検証会議

#### 【目的】

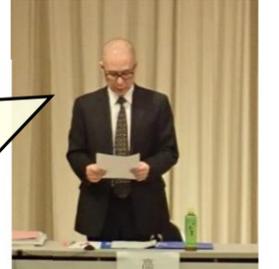
災害検証会議の検証結果を踏まえ、今回の浸水被害における施工不備による影響度合いと工事の管理体制について、法的な観点から検証を行うことで、護岸工事における過失の程度を明らかにするとともに、工事管理体制のあり方を取りまとめることとします。

【設置日】 令和5年10月31日

【開催歴】 第1回 令和5年11月24日

#### 【高橋座長あいさつ】

- 浸水被害の様子を検証する「災害検証会議」にもオブザーバーとして参加しています。
- この結果を踏まえ、仮締切り堤防（大型土のう）の施工不備による浸水被害の影響がどうであったのか、浸水の原因はどこにあったのかを検証するとともに、**工事の管理体制のあり方を議論**していきます。



弁護士 高橋座長

#### 【会議における委員からの主なコメント】

- 災害検証会議の結果を踏まえ、法的な観点から検証を進めたい。
- 法的な見解を述べるため、詳細な資料の整理や工事関係者へのヒアリングにより事実確認を行う。



第1回一宮川護岸工事検証会議の様子

### 3) 検証会議委員による合同現地調査

検証を行う上で、一宮川の現状を委員自らが確認し、河川や河川沿いの地形と、高低差など、地域の特性について委員間で共有を図るため、現地調査を実施しました。

【日時】 令和6年1月12日

【箇所】 仮締切堤防高さ不足の5箇所ほか

【参加】 両検証会議委員 5名



現地調査の様子 台風13号直後

### 両検証会議の詳細内容は、千葉県ホームページからご覧いただけます。

会議結果について、千葉県ホームページに掲載しています。会議資料や議事要旨がご覧いただけます。

一宮川における有識者による検証について  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/press/2023/kensyou-kaigi.html>

> 一宮川流域における令和5年台風第13号による災害検証会議の結果について  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/kenshokaigi/saigai/kekka.html>

> 一宮川護岸工事検証会議の結果について  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/kenshokaigi/kouji/kekka.html>

